

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		結果の考察・分析	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
<b>I 町民が生産を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進</b>							
1	<b>家庭教育支援の充実</b> に努める。 ○ 家庭学習提出95% ○ 望ましい家庭学習の具体的な姿の提示 ○ 保護者相談、個人面談の充実	3.1	3.1	・保護者の困っていることについて話を聞く姿勢をもち、関係機関との連携も図れた。 ・家庭学習の提出は良好できている。	3.7	3.3	・「家庭学習の手引き」の啓発を活かして行っていただきたい。 ・学校側の取組は素晴らしいと思います。見聞かして頭の下がる思いです。他は私たち町民の努力と協力が必要かと思ひます。（町民にもいろいろな環境がありますので、ご配慮いただくと幸いです。）
2	<b>学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進</b> する。 ○ 各行事等の参加率90%以上 ○ PTA執行部等との綿密な連携 ○ コミュニティ・スクール共同事業の推進	3.0		・コロナ5類移行後、地域での行事の再開や学校行事への保護者・地域の方の参加も増えた。 ・保護者が非常に協力的である。	3.0		・児童が参加できる地域行事が少なくなっているのではないかと。地域住民の学校行事に対する意識づけが必要。 ・学校側の努力に頭の下がる思いです。ますますの前進を願っております。
<b>II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人材を育む教育の推進</b>							
1	<b>読書活動を推進</b> する。 ○ 全児童の目標設定と、その到達 ○ 読書好きの子どもを育む活動の推進 (R4貸し出し冊数：11,082冊→R5目標貸し出し冊数：12,000冊)	2.9	3.1	・学校司書・図書担当・委員会活動の取組により、貸し出し冊数も増え、図書に親しむ雰囲気が出てきている。 ・家庭での読書の時間は足りていないと感じている保護者が多い。 ・読み聞かせボランティアに関してはなかなか思うように人が集まっていないのが現実である。	3.5	・書店における児童向けの本に目を向けさせる。 ・計画が順調に進んでいることは職員の方々の努力だと思います。読書は小学校・中学校時代が一番良い環境にあるのではないかと思います。それ以降は勉強の方に時間がとられますので・・・私も小・中学校の頃に会った多数の本のおかげで文章力・表現力・人との会話・言葉数・内容など豊富に吸収できたと思っております。 ・本年度はボランティアの参加が少なかった。決まった日だけの読み聞かせは必要か？ ・子供達による読み聞かせ、本のおすすめコーナーは他の学校より素晴らしい。	
2	<b>確かな学力を育む教育を推進</b> する。 ○ 授業力向上につながる授業研究の究明 ○ 単元テスト平均得点率85%以上 ○ 一部教科担任制の取組の推進 ○ 新聞記事を活用した読解力育成	2.9		・子ども新聞の提供をいただいているが活用についてはまだ十分ではない。授業や校内放送、他学年での活用など工夫の余地がある。 ・ICTの活用も推進が図られたが、まだ活用の余地があると思う。	2.9	・児童に関する新聞記事について家庭内でも話題にする。 ・「書く」「聞く」「見る」授業の進め方で子供達の興味感が伝わってきた。	
3	<b>人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進</b> する。 ○ ふるさと学習の充実 ○ 「いのちを大切にす授業」の企画 ○ いじめの早期発見・早期対応 ○ 教育相談の充実	3.1	・「いのちを大切にす授業」について本年度は参観日で行うという周知及び共通理解ができていなかった。 ・教育相談を行ったり、生徒指導対策会において全職員で共通理解をしたりして、指導にあたっている。	2.7	・地域の農畜産業の生の施設見学も実施してほしい。 ・私も人権のお仕事の手伝いをしておりますが、言葉だけでなく、当人の置かれている環境から考慮していかなければならないこと。言葉だけでなくその奥にあるものを見出し感じ取っていくことが大切なように思ひます。大変な問題ですが先生方の優しい声かけとふれあいに期待しております。 ・児童の育成、毎月の教育相談の実施と児童支援については疑問。		
4	<b>特別支援教育を推進</b> する。 ○ 個別の支援について共通理解・共通実践 ○ 特別支援コーディネーターを中心とした支援体制の構築	3.1	・子どもたちの悩みや困りに寄り添った指導を行うよう心がけている。 ・その都度、情報共有や共通実践事項の共通理解を行い指導ができた。 ・SCなど関係機関との連携ができた。 ・全職員の協力体制が整っている。	2.7	3.1	・特別支援コーディネーターとの連携を深めてもらいたい。	
5	<b>郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進</b> する。 ○ 地域行事と学校教育の関連した計画 ○ キャリア教育と関連付けた計画	3.2	・様々な教科や学年で積極的に活用できた。 ・地域の方から職業について学ぶ機会があるとよい。 ・HPの定期的な更新・活用を推進したい。	3.3	・学校行事を地域全体で共有できる仕組みが必要ではないか。 ・コロナ以前の活動が見られるようになり大変うれしく思ひます。今月10日にも「地域ふれあい活動」があり参加された方々（青バト）も喜んでおられました。一人ぐらしの高齢者だけの生活を送っておられる方は、大喜びのようでした。行事になると、学校側は大変ですが地域の高齢者は「声がかかれれば常に参加したい」という気持ちが感じられました。		
6	<b>キャリア教育を推進</b> する。 ○ キャリアパスポートを生かした教育の推進 ○ 「キャリアパスポート」による地域の行事等との関連付け	3.0	・地域人材についてはよく活用できた。 ・キャリアパスポートについてはまだ十分に活用できていないところがある。 ・年間指導計画の見直しを今後も進めていく。	3.1	・校区内だけでなく、地域人材の活用は無理があるのではないか。 ・キャリア教育では、先輩方の話を聞くという貴重な体験が出来てとても良いことだと思います。人の話を今の自分にある取捨選択の力を養うことにもつながると思ひます。		
7	<b>社会の変化に対応した多様な人材を育む教育を推進</b> する。 ○ 学校教育及び家庭学習におけるICT活用の推進 ○ 国際理解教育及び外国語教育の充実	3.0	・タブレットの活用が図られている。今後、ドリル等の活用を積極的にに行い、成果や課題を共通理解しさらなる活用ができればよいと思ひます。 ・タブレットで持ち帰り、課題を行うことができた。オンライン授業については今後実施予定。	3.3	・家庭内でタブレット学習に対応できるよう保護者向けの学習の場も必要ではないか。 ・この項目では学校だけでなく地域の方々の協力も必要かと思ひます。今後とも頑張ってください。協力できることには参加させていただきます。		
<b>III 教育を支える体制や環境の整備・充実</b>							
1	<b>教職員の資質向上と働き方改革の推進</b> に努める。 ○ 教職員の意識改革の推進 ○ 内容に応じた校務分掌の工夫（全体・小集団・個人） ○ 校内外の研修への主体的参加	3.3	6.3	・職員研修等で、全職員熱心に授業改善に取り組んでいる。さらに実践を深めたい。	2.8	3.2	・学校現場内のことですが、多賀の先生方は、よく頑張り、工夫されていると思ひます。生涯子ども達の心に残る指導者でいてください。先生方の努力、取組は子ども達、保護者にも届いていると思ひます。
2	<b>安全、安心な教育環境の整備・充実</b> に努める。 ○ 緊急時・不意時における危機管理の徹底と常時危機意識の高揚 ○ 児童の危機意識を高める指導	3.0		・危機管理マニュアルの活用をはかり、行事等で事故のないよう対策を回りたい。 ・防災教育の観点からも児童の危機意識の高揚を図りたい。	3.7		・登下校中での危機管理マニュアルを地域にも開示できないか。 ・学校側の努力に感謝しております。
<b>IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進</b>							
1	<b>学校体育の推進</b> に努める。 ○ データを生かした指導の充実 ○ 個の力を伸ばす授業及び日常指導 ○ 体を動かすことが好きになる教育の推進 ○ 健康増進意識の高揚	2.8	2.8	・体力テストの結果や体力向上プランについては夏の研修で周知できた。 ・委員会活動提案の運動遊びはできていない。 ・体育の授業を通しての効果的な体力向上の在り方を再度見直していきたい。 ・養護教諭の保護者への呼びかけからR4よりも治療率が上がっている。	3.0	3.0	・運動会での活躍に素晴らしいものが見られた。 ・具体的ではありませんが、今年の体育祭での5～6年のエイサーでは昨年とフォーメーション、動き等も異なっており、子どもたちの真剣さがよく伺えて好感のもてるもので大変良かったと思ひます。子ども達が自分たちの力で作り上げたのか？と感心しました。